

科目名	運動学実習					授業の種類	実習	必修・選択		必修
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	配当学年時期	2年	通年
【授業の目的・ねらい】										
人間の運動や動作の特徴について理解し、作業療法評価や治療に必要な活動分析について学習する。										
【実務者経験】										
【授業全体の内容の概要】										
講義及びグループでの活動分析、分析発表、レポート作成を通じて観察・記録・報告の過程を繰り返す。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】										
人間の運動や動作の特徴を説明し、対象者の動作分析に繋げる事が出来る。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	オリエンテーション、上肢の触診①（ランドマークの確認、姿勢評価）								教科書（上肢）、 バスタオル1枚、 動きやすい格好	
2	上肢の触診②									
3	上肢の触診③									
4	上肢の触診④									
5	上肢の触診⑤									
6	上肢の触診⑥									
7	上肢の触診⑦									
8	下肢・体幹の触診①									
9	下肢・体幹の触診②									
10	下肢・体幹の触診③									
11	下肢・体幹の触診④									
12	下肢・体幹の触診⑤									
13	下肢・体幹の触診⑥									
14	下肢・体幹の触診⑦									
15	1から14のまとめ								教科書	
16	動作分析の手法								教科書（上肢）、 バスタオル1枚、 動きやすい格好	
17	動作分析1（基本動作）									
18	動作分析2（基本動作）									
19	動作分析3（基本動作）									
20	動作分析4（基本動作）									
21	動作分析5（基本動作）									
22	動作分析6（応用動作）									
23	動作分析7（応用動作）									
24	動作分析8（応用動作）									
25	動作分析9（応用動作）									
26	動作分析10（応用動作）									
27	動作分析11（応用動作）									
28	動作分析12（応用動作）									
29	動作分析13（応用動作）									
30	16から29のまとめ								教科書	
定期筆記試験										
【 使用教科書・教材・参考書 】										
運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）（メジカルビュー） 運動療法のための機能解剖学的触診技術（下肢・体幹）（メジカルビュー） 配布資料										
【 準備学習・時間外学習 】										
1年次に学修した解剖生理学Ⅰ（運動系）および機能解剖学の復習を各自自宅学修しておく。										
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】										
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 課題の評価50点、定期試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。										